



PRESS RELEASE

2024年12月11日

【ブランド USA】

2025 年中にアメリカ国内に新規オープンする 話題の観光施設や、開催イベント等を一同に公開

アメリカ合衆国では 2025 年を通じて、ホテルやアトラクションなどの新規観光施設の開業や、周年記念行事、国際的なスポーツ大会など、訪米旅行体験を充実させる事象が数多く予定されています。アメリカの食文化を代表する料理の一つ、バーベキューをテーマにしたカンザスシティの「バーベキューミュージアム」、映画や物語の世界観を体験できるユニバーサル・オーランド・リゾートの新テーマパーク「エピック・ユニバース」、アラスカの大自然を舞台にする有名な犬ぞりレース、世界のトップサッカークラブが競い合う FIFA クラブワールドカップなど、世界中の観光客の注目を集める新規オープンやイベントが目白押しの年となります。アメリカの公式観光促進情報サイト、GoUSA ではこのたびその概要を公開しました。

2025 年中に新規開業するアトラクションおよび宿泊施設:ユニバーサル・オーランド・リゾート内の新テーマパークや、ヨセミテ国立公園の宿泊施設など

アメリカ有数のテーマパークが集まるフロリダ州オーランドにあるユニバーサル・オーランド・リゾート内に 2025 年 5 月 22 日、新テーマパーク「ユニバーサル・エピック・ユニバース」が開業します。敷地面積は既存の倍にまで拡張されることとなり、50 を超える没入感溢れるストーリーやスリル満点の新規アトラクションや施設が勢揃いします。新規パークは、人気アニメ映画「ヒックとドラゴン」のエリア、ドラキュラやフランケンシュタインなどのモンスターズがテーマの「ダークユニバース」、「魔法省」と名付けされたハリー・ポッターシリーズがテーマの「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」、庭園と噴水が広がる「セレスティアル・パーク」、「スーパー・ニンテンドー・ワールド」の 5 つのエリアに区分けされています。

また、近隣のウォルト・ディズニー・ワールドでは、エプコットのシンボリック存在でもある巨大な銀色の球体型をした建造物「スペースシップ・アース」をテーマにしたラウンジがエプコット内に登場し、マジック・キングダム・パーク内には人気映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」をテーマにしたラウンジがオープンします。同パークでは、「アナと雪の女王」や「ミラベルと魔法だらけの家」のキャラクターが登場する夜のパレードや「リトル・マーメイド」、「ズートピア」、ディズニーの悪役達をテーマにしたショーが予定されているほか、「スプラッシュ・マウンテン」の大規模リニューアルを経て、アニメーション映画「プリンセスと魔法のキス」にインスパイアされたウォーターライド「ティアナのバイユー・アドベンチャー」が登場します。このアトラクションは、本年 11 月



にカリフォルニア州アナハイムのディズニーランドにすでにオープンしており、映画の主演キャラクター、ティアナの故郷であるルイジアナ州ニューオーリンズをイメージしたバイユー・カンントリーエリア内に登場します。

一方、カリフォルニア ディズニーランド・リゾートは 2025 年 5 月 16 日から 2026 年夏の期間、70 周年アニバーサリーイベントを開催予定で、アフターアワーズイベント「90s ナイト」や、パーク創設者ウォルト・ディズニーを描いたアニメトロニクス[※]アトラクション「ウォルト・ディズニー：マジカル・ライフ」が登場します。「ペイント・ザ・ナイト」ナイトタイムパレードや「ワンダラス・ジャーニー」など、人気のナイトショーも復活するほか、ディズニー・カリフォルニア・アドベンチャーでは新たなデイトタイムパレード、「ベター・トゥギャザー：ア・ピクサー・パル・セレブレーション！」パレードが開催されます。

アメリカで有数のバーベキューの聖地として知られるミズーリ州カンザスシティには 2025 年 3 月、世界初の「バーベキューミュージアム」がオープンします。バーベキューの歴史と文化を掘り下げ、テキサスやノースカロライナ、サウスカロライナ、メンフィス・テキサスなど、地域ごとに異なるバーベキューのスタイルを紹介します。カンザスシティには、アメリカン・ジャズ・ミュージアム、ニグロリーグ野球博物館、ネルソン・アトキンス美術館など、見逃せない美術館・博物館が揃っています。

米国大手旅行専門誌「トラベル・アンド・レジャー」誌の「2025 年に行くべき旅行先」に選出されたテキサス州サンアントニオには 2025 年中、キンプトン サント ホテル、インターコンチネンタル サンアントニオ リバーウォーク、プラザ サン アントニオ ホテル & スパ オートグラフ コレクションなど、本年新規ホテルが続々と開業します。本年 11 月から宿泊客を受け入れているスペックブーム・ロッジは、同市のサンアントニオ動物園内に立地する、ラグジュアリーリトリート施設として話題を集めています。ホテルの敷地内には、シマウマ、キリン、サイなどが暮らすエリア（ネイラー・サバンナ・ハビタット）があり、動物たちの生活を間近で垣間見ながら宿泊することができます。サンアントニオの名所である活気あるリバーウォーク地区には、メキシコとサンアントニオの料理や文化をテーマにした、ダイニング、エンターテイメント・ショッピングを融合した複合商業施設「メキシコシティ」が誕生します。

1836 年のテキサス独立運動のスローガンとして「アラモを忘れるな(Remember the Alamo!)」という合言葉が広く知られていますが、元々はスペインの神父によって建造され、メキシコからの独立を目指したテキサス独立戦争で要塞として使用された伝道所が、アラモ伝道所です。西部開拓時代のアメリカ合衆国の英雄的人物、デヴィッド・デイビー・クロケットを含む、約 200 名が 1836 年 3 月 6 日に、歴史的な「アラモの戦い」で命を落とした場所として知られています。現在アラモ伝道所は、サン・アントニオ・ミッションズ国立歴史公園の一部として、テキサス州唯一のユネスコ世界遺産に登録されていますが、2025 年 1 月には、サン・アントニオ・ミッションズ国立歴史公園近隣に、地元の歴史、芸術、文化をテーマにした「世界遺産センター」が新た



にオープンします。

オクラホマ州オクラホマシティには 2025 年 2 月下旬、ウォーターパークを中心に据えた複合商業施設、「オカナ リゾート & インドア ウォーターパーク」がホライゾンズ地区にオープンします。ホライゾン地区には、ネイティブアメリカンの芸術、歴史、文化に焦点を当てた「ファースト・アメリカンズ・ミュージアム」と「エキシビット C ギャラリー」もあります。市内には、1995 年のオクラホマシティ連邦政府ビル爆破事件の犠牲者を追悼する「オクラホマシティ・ナショナル・メモリアル&ミュージアム」や「ナショナル・カウボーイ & ウェスタン・ヘリテイジ・ミュージアム」などもあります。米国旅行専門誌「AFAR」にて「2025 年に訪れるべき場所」に選ばれたオクラホマシティのその他の見どころとしては、「アメリカ料理界のアカデミー賞」と称される、ジェームズ・ビアード賞を受賞しているレストラン「グレイ・セーター」、ブティックホテル「ブラッドフォード・ハウス」、そして「デッドセンター・フィルムフェスティバル」などが含まれます。

カリフォルニア州のヨセミテ国立公園では 2025 年中、改修作業を終えた宿泊施設が続々とオープンします。夏にはキャンプ施設のトゥオルミ・メドウズ・キャンプグラウンドが、また耐震補強工事を完了したアワニーホテルもリニューアルオープンします。また、公園の近郊エリアには、アウトドアライフスタイルを楽しめるホテル「アウトバウンド・ヨセミテ」や、贅沢なグランピング体験を提供する「アンダー・キャンパス」などの宿泊施設が、新たにオープンします。2023 年には、新規ホテル「ファイアフォール・ランチ」と、グランピング施設の「ワイルドハイブ・ヨセミテ」が開業し、「テナヤ ロッジ アット ヨセミテ」には改装されたロッジルームが新設されるなど、公園敷地内の宿泊施設の選択肢がさらに拡大しています。

ロサンゼルスでは 2025 年末から 2026 年初頭までの間に、世界初の AI アートミュージアム「DATALAND」が、巨匠アメリカ人建築家フランク・ゲーリーが設計した複合施設「The Grand LA」内にオープンします。そのほか、ロサンゼルスのブラックコミュニティを称える、全長約 2 キロに及ぶ屋外ミュージアム「デスティネーションクレンショー」や、ロサンゼルス国際空港には全自動無人運転車両「オートメテッド・ピープル・ムーバー」が 2026 年 1 月に完成の予定です。無料で 24 時間運行されるこの新輸送システムにより、空港ターミナル、駐車場、ライドシェアサービス、そしてロサンゼルスメトロなどへのアクセスが大幅に簡易化されます。

バージニア州バージニアビーチには 2025 年の 5 月、総面積約 8,000 平方メートルの、自然の波の技術を利用して 1 年中サーフィンを楽しむことができるサーフィンパークが目玉となる、複合エンターテインメント施設「アトランティックパーク」がオープンします。総工費約 530 億円、敷地面積約 4 万平方メートルを誇る広大な新開発エリア内には、高級ブランドのショッピング店舗やダイニング施設、全天候型のアンフィシアター（円形劇場）「ザ・ドーム」なども誕生する予定です。同施設のそばには、国内有数のビーチリゾート、バージニアビーチがあり、大西洋の波で実際にサーフィンを楽しむことができます。バージニアビーチは、毎年 8 月最後の週末に開催される「イーストコースト・サーフィン選手権」の舞台として有名です。バージニアビーチ出



身のアーティスト、ファレル・ウィリアムスによる音楽フェスティバル「サムシング・イン・ザ・ウォーター」が 2025 年 4 月 26 日と 27 日に開催され、5 月にはファレルが制作した青春ミュージカル映画「ゴールデン」の公開が控えています。

ナッシュビルからアラスカまで、2025 年中に各地で開催される周年記念イベント

オハイオ州クリーブランド郊外に位置するカイヤホガバレー国立公園は、2025 年で設立 50 周年を迎えます。これを記念して、ガイド付きハイキング、風光明媚な列車の旅、リバークルーズ、文化イベントなど、同年中は 1 年を通じて多彩なプログラムが予定されています。クリーブランドの主要観光スポットとしては、歴史的なウェストサイドマーケットや「ロックの殿堂」博物館もあります。

テネシー州ナッシュビルにある伝説的なカントリーミュージックのライブ会場「グランド・オール・オプリ」は来年、1925 年の初公演から 100 周年を迎え、「オプリ 100」と題した特別公演や体験プログラムを開催します。一方、テネシー州では、カントリーミュージックの第一人者として知られるアーティスト、ドリー・パートンが手がけるテーマパーク「ドリウッド」も 40 周年を迎え、彼女の人生をテーマにしたミュージアム「ドリー・パートン・エクスペリエンス」が初めてフルシーズンで公開されます。「ドリウッド」はグレート・スモーキー山脈国立公園の玄関口である町、ピジョンフォージにあります。

バージニア州のシンコティエグ国立野生生物保護区では、毎年 7 月に開催されているイベント「ポニー・スイム」が初開催から 100 周年を迎えます。これは、カウボーイが多数の野生のポニーを先導し、ポニーが一斉にアサティエグ海峡を豪快に泳ぐ様子を鑑賞するイベントです。バージニア州にあるアサティエグ島やシンコティエグ島には、美しいビーチや星空観察、カヤック、バードウォッチングを求めて毎年多くの観光客が訪れます。

アラスカの地で、ジフテリアに感染した子どもたちを救うべく、犬ぞりチームが極寒の荒野を約 590 キロを疾走し、血清を届けた記念すべき時から 100 周年を迎えます。この歴史的な偉業は、毎年 3 月 1 日にアンカレッジでスタートする「アイディタロッド犬ぞりレース」で讃えられています。アンカレッジでは、市内で 20 年ぶりの新規開業となる、初の高級ブティックホテル「ワイルドビーチホテル」が 2025 年初頭にオープンします。同ホテルは、犬ぞりの歴史と文化を体験できるエリア、マッシング地区に誕生します。一方、1925 年にジフテリアの血清が届けられた州内西部の街、ノームでは、地元で「血清ラン」と呼ばれるこの歴史的な出来事の 100 周年を記念して、1 月 25 日から 2 月 2 日までの 1 週間にわたり関連イベントが開催されます。そしてアラスカでは、2025 年冬季に活動が活発になると予測される、オーロラ観賞も注目を集めています。

スポーツからプライド、ブロードウェイまで、話題のイベントが 2025 年を通じて続々開催

2025 年 6 月 15 日から 7 月 13 日まで、FIFA クラブワールドカップがアメリカで開催され、世界各国から集まる 32 クラブチームが計 63 試合を戦います。熱い戦いの舞台となる開催都市は、



ジョージア州アトランタ、ノースカロライナ州シャーロット、オハイオ州シンシナティ、カリフォルニア州ロサンゼルス、フロリダ州マイアミ、テネシー州ナッシュビル、フロリダ州オーランド、ペンシルベニア州フィラデルフィア、ワシントン州シアトル、ワシントン D.C.、ニューヨーク市郊外のイーストラザフォード(ニュージャージー州)です。決勝戦は、ニュージャージー州のイーストラザフォードにあるメットライフ・スタジアムで行われます。また翌年の 2026 年には、FIFA ワールドカップがアメリカ、メキシコ、カナダで共同開催されます。

NFL のチャンピオンシップゲーム「第 59 回スーパーボウル(Super Bowl LIX)」は、2025 年 2 月 9 日にニューオーリンズで開催され、ハーフタイムショーにはヒップホップアーティストのケンドリック・ラマーが登場します。ニューオーリンズでは、3 月 4 日に華麗なニューオーリンズ・マルディグラのパレードが繰り広げられるほか、4 月 10 日から 13 日までの「フレンチクォーターフェスト」、4 月 24 日から 5 月 4 日までの「ニューオーリンズ・ジャズ&ヘリテージ・フェスティバル」、そして 7 月 3 日から 6 日までの「エッセンス・フェスティバル・オブ・カルチャー」と、一年を通じて多彩なイベントが予定されています。

2025 年 5 月 17 日から 6 月 8 日まで、LGBTQ+コミュニティを称える世界的なイベント、「ワールドプライド」がワシントン D.C.で開催されます。来年は、プライド関連イベントの 50 周年を迎える記念すべき年ともなります。パレードやストリートフェスティバル、集会、人権会議、文化プログラムなど、多彩なイベントが予定されています。ワシントン D.C.のロナルド・レーガン・ワシントン・ナショナル空港には、キャピタル・ワンのクレジットカード所有者専用の新しい空港ラウンジ「キャピタル・ワン・ランディング」が登場します。同ラウンジでは、ワシントンの有名レストラン「ハレオ」やニューヨークの「メルカド・リトル・スペイン」を手がける著名シェフ、ホセ・アンドレスによるタパススタイルのメニューが提供されます。

2025 年、ニューヨークのブロードウェイでは数々の新作が登場します。俳優デンゼル・ワシントンがシェイクスピアの「オセロ」を演じる舞台劇や、トニー賞受賞のミュージカル俳優、イディナ・メンゼルが出演する新ミュージカル「レッドウッド」、HBO 製作のドラマ「メディア王～華麗なる一族～」で知られる女優、サラ・スヌークが全 26 役を一人で演じる「ドリアン・グレイの肖像」のワンウーマンショー、人気バンド、ジョナス・ブラザーズのニック・ジョナスが出演する「ラスト・ファイブ・イヤーズ」、Netflix の人気番組「ストレンジャー・シングス」の前日譚「ストレンジャー・シングス: ザ・ファースト・シャドウ」、「ビルとテッドの大冒険」で知られるキアヌ・リーブスとアレックス・ウィンターが共演する新作「ゴドーを待ちながら」など、多彩なラインナップが予定されています。

またニューヨークでは、複数の主要な施設の再オープンが予定されています。ハーレムにあった「スタジオ美術館」は、125 番街へと移転し、2025 年末の再オープンが予定されています。また、アッパー・イースト・サイドにある美術館「フリック・コレクション」は 4 月に再オープンし、6 月にはフェルメール展を開催予定です。ブロンクス動物園では、夜行性生物をテーマにした展示「ワールド・オブ・ダークネス」が 2025 年夏季にスタート予定です。これは、元々 2009 年に開



催された「ワールド・オブ・ダークネス」のリバイバル展示となります。

マンハッタン南部にあるユダヤ歴史センターでは 2025 年 1 月、第二次世界大戦中にアンネ・フランクが家族とともにナチスから隠れていたアムステルダムの家を完全再現した展示が始まります。アンネは 15 歳という歳で強制収容所にて亡くなりましたが、彼女の日記は 20 世紀を代表する文学作品の一つとして広く知られています。

ニューヨーク州北部においては、全長約 55 キロにおよぶアディロンダック・レイル・トレイルの最終区間が 2025 年に完成予定です。このトレイルでは、サイクリングやバードウォッチングからスノーモービルやクロスカントリースキーなど、一年を通じて様々なアウトドアアクティビティが楽しめます。トレイルの東端に位置する街、レイクプラシッドは、1932 年と 1980 年の冬季オリンピックの開催地として知られ、特に冬に人気の魅力的な観光地です。

アラバマ州では 2025 年、「アラバマ・トレイルの年」をスタートさせます。このプログラムでは、南北戦争や公民権運動に関連するスポットを訪問する旅程から、バードウォッチング、庭園散策、ゴルフ、狩猟、釣りなど、20 のテーマ別旅程をウェブサイトなどを通じて積極的に訴求します。同州の州都モンゴメリーには、黒人のリンチ被害者を追悼する厳粛な「ナショナル・メモリアル・フォー・ピース・アンド・ジャスティス」、バスで白人男性に席を譲ることを拒否した黒人活動家ローザ・パークスの名を冠した「ローザ・パークス・ミュージアム」、そしてマーティン・ルーサー・キング牧師が説教者として活動し名声を得た「デクスターアベニューキング記念バプテスト教会」など、歴史的な重要性を持つ施設が揃っています。

南カリフォルニアの都市、パームスプリングスでは、2 月 13 日から 23 日まで、アメリカで誕生したミッドセンチュリーモダン建築をテーマにした「モダニズムウィーク」が開催されます。開催期間中、同建築様式、そして関連のアートやインテリアデザインを称える各種イベントやパーティー、展示会が数多く開催されます。またグレーター・パームスプリングス地区全体では、3 月 8 日から 5 月 11 日にかけて、入場無料の現代アートフェスティバル「デザート X」が開催されます。このイベントでは、環境問題や先住民、文化理解に関する対話を促進することを目的に、乾燥した砂漠環境をテーマにしたアート作品が数多く展示されます。

2026 年を見据え～ルート 66 の 100 周年とアメリカ建国 250 周年

2026 年はアメリカにとって、2 つの意味で記念すべき年となります。シカゴからロサンゼルスを経る象徴的なハイウェイ「ルート 66」が 100 周年を迎え、イギリスからの独立宣言が署名された 1776 年 7 月 4 日からの建国 250 周年を祝うプログラム「アメリカ 250」がスタートします。

「マザーロード」という名称でも知られるルート 66 は、アメリカ初の全面舗装ハイウェイで、伊利ノイ州、ミズーリ州、カンザス州、オクラホマ州、テキサス州、ニューメキシコ州、アリゾナ州、カリフォルニア州の 8 つの州を貫通する全長約 4,000 キロにわたるハイウェイです。アメリカならではの



の「グレート・アメリカン・ロードトリップ」の伝統を築き上げた、伝説的ともいえるハイウェイ沿いには、クラシックなモーターや歴史的名所、道路沿いの観光スポット、そして魅力的な小さな町が揃っています。

ルート 66 は、ハイウェイ沿いのオクラホマ州タルサやニューメキシコ州アルバカーキといった都市、イーグルスの名曲「Take It Easy」で有名になったアリゾナ州ウインズローの伝説的な街角など、アメリカらしさが凝集された場所を、一種の懐かしさとともに訪れることができる観光ルートとして高い人気を誇っています。シカゴ美術館近くにある起点ポイントから、太平洋を望むカリフォルニア州サンタモニカピアの終点まで、ゆっくりと 2～3 週間をかけて全ルートを満喫するのがお薦めです。

アメリカ建国 250 周年の大規模な祝賀イベントは 2026 年 7 月 4 日に開催されますが、建国に至る前の革命戦争の初期の出来事を記念するイベントがアメリカ各地で 2025 年中にスタートします。「アメリカ独立戦争」として知られるこの戦争は、イギリスによる植民地支配に終止符を打ち、アメリカの独立を確立するために戦われたものです。

アメリカ独立戦争の最初の大きな戦いは、1775 年にマサチューセッツ州ボストンとその周辺が舞台となったため、これらの場所では 250 周年の記念イベントが開催されます。「全世界に響き渡った発砲」として知られる銃声は、1775 年 4 月 19 日にレキシントン・コンコードの戦いで放たれました。ミニットマン国立歴史公園では、この日を記念して 4 月 19 日に戦闘を再現するイベントなどが開催されます。また、バンカーヒルの戦いは同年 6 月 17 日にボストンのチャールズタウン地区が舞台となったため、ボストン国立歴史公園では 250 周年を記念するツアーやイベントが開催されます。

2025 年中に開催されるアメリカ建国 250 周年の関連イベントは、ペンシルベニア州でも執り行われます。同州のフィラデルフィアで 1775 年 5 月、ジョージ・ワシントンが大陸軍の総司令官に任命されました。任命にあたっての会合が行われたのは、後に独立宣言が署名されるインディペンデンスホールで、現在はインディペンデンス国立歴史公園の一部となっています。この公園には、自由の鐘やアメリカ革命博物館、国立憲法センター、歴史的な邸宅や墓地を含む 24 以上の関連施設があります。

バージニア州では、建国の父パトリック・ヘンリーが 1775 年 3 月 23 日にリッチモンドのセント・ジョンズ大聖堂で「自由を与えよ、然らずんば死を」と語った有名な演説の 250 周年を記念する博物館展示や関連プログラムが各種開催されます。バージニア州には、コロニアル・ウィリアムズバーグ、ジョージ・ワシントンの邸宅マウントバーノン、トーマス・ジェファーソンの邸宅であったモンティチェロなど、数々の歴史的名所があります。

上記のように、アメリカでは 2025 年を通じて、魅力的な新たな観光施設や記念イベントが続々



と登場し、翌年の 2026 年にはアメリカ建国 250 周年を祝う数多くのイベントが予定されています。詳細は随時、ブランド USA の[公式ウェブサイト](#)にて公開予定です。

「壮大な自然や多様な歴史を巡るロードトリップ、テーマパークやスポーツイベント、ミュージアム訪問など、今こそアメリカへの旅行を計画する絶好のタイミングです。」(ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者、フレッド・ディクソンのコメント)

※ オーディオ(音)、アニメーション(動き)、エレクトロニクス(電子工学)を組み合わせた言葉で、音と動きに合わせて作動するリアルなフィギュア・人形

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、アメリカを優れた旅行デステネーションとして訴求し、国外から旅行者に対しアメリカの観光施策を伝達することをその目的として、旅行促進法に基づき、アメリカ初の半官半民の事業体として設立されました。当団体は、海外からアメリカを訪れる旅行者の増加によってアメリカ経済を活性化し、世界におけるアメリカのイメージを向上させることを目的としています。2010 年に Corporation for Travel Promotion (米国旅行促進協会)として設立されたこの官民組織は、2011 年 5 月に活動を開始し、ブランド USA として事業を展開しています。オックスフォード・エコノミクス社の調査によると、ブランド USA は過去 11 年間のマーケティング施策により、海外からの訪米観光客が 870 万人増え、約 288 億ドル(約 4 兆 3200 億円 1ドル=150 円換算レートにて計算)の消費額の増加、毎年 3 万 6,800 件を超える雇用の創出、83 億ドル(約 1 兆 2,450 億円)の連邦税、州税、地方税収入の増加を達成しており、その総経済効果は約 630 億ドル(約 9 兆 4,500 億円)に上ります。

ブランド USA に関する業界向けの詳細情報やパートナーに関する情報については、[TheBrandUSA.com](#)、または弊社の [Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[X \(旧 Twitter\)](#) をご覧ください。アメリカ旅行の無限の多様性と本物の豊かな文化に関する情報は、ウェブサイト [GoUSA.jp](#)、または [Facebook \(Visit The USA\)](#)、[TikTok](#)、[Instagram](#) をご覧ください。[GoUSATV](#) では旅行動画を配信しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所 (広報担当:水口、野間)

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com